

インドネシア水道に係る情報収集 No. 190802W

検索サイト	Google	実施日	2019/08/10	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL； https://medicalxpress.com/news/2019-07-children-sweet-lack.html					
標題：Children drink sweet drinks when they lack clean drinking water.					
題名；清浄な飲料水が不足すると、子供たちは甘味飲料を飲む。					
内容；					
<p>子供たちには清浄で安全な飲料水が必要。</p> <p>しかし、インドネシアなどの発展途上国では、全ての子供達がそのような飲料水を飲むことができるわけではない。</p> <p>調査によると、子供達は飲料水の代わりに甘味飲料を摂り、その結果、健康を害する恐れがある事が確認された。</p> <p>☆子どもの権利団体 Project Child Indonesia は、ジョグジャカルタと西パプアのファクファクにある小学校 10 校を調査し、小学生 272 人から回答を得た。回答した約 1/3 の子供が、清浄で安全な飲料水の入手が困難で、甘味飲料を摂っていた。</p> <p>甘い誘惑</p> <p>甘味飲料の摂取は、肥満、インスリン抵抗性、虫歯のリスクを高める可能性がある。甘味飲料は普通の水よりも甘い味がするので、魅力的であり、さらに、大規模な広告も、子供を引き付ける。</p> <p>清浄で安全な飲料水へのアクセスが困難なため、子供たちは甘味飲料を摂る。</p> <p>また、ボトル入りのミネラルウォーターの値段が高いことも原因である。</p> <p>(ファクファクのボトル入りミネラルウォーターの価格は、東ジャワのスラバヤの 2 倍。)</p> <p>解決策→学校に浄水器を設置</p> <p>Project Child Indonesia は、ファクファク市の飲料水の実態調査を実施。</p> <p>(Project Child Indonesia 報告；インドネシアにある 27 万校以上の小学校のうち、生徒に無料で清浄で安全な飲料水を提供しているのは少数である。)</p> <p>☆パプアでは、この状況はさらに悪い。</p> <p>2015 年全国社会経済調査→パプア地域は依然として飲料水にアクセスできない。</p> <p>パプアの学校もまた、十分な環境・衛生教育を提供していない。</p> <p>その結果、子供たちは安全で清潔な飲料水の重要性を認識していない。</p>					

以上の調査結果に基づき、西パプアの子供たちが直面する水アクセス問題に取り組むため、プロジェクトが作成された。

1. 西パプアのファクファクにある 8 つの学校に浄水器を設置。
☆パプアの水の供給源；雨水または地元の飲料水会社からの給水→
浄水器は安価な飲料水を得るのに有意義。(化学汚染物質の除去にも必要。)
2. 安全で清浄な飲料水を摂る習慣を導入するキャンペーンを設計。
両親、教師、地域社会の代表者を含む飲料水委員会を設立。
委員会は、地域社会の **Fakfak Mengajar** および **Kitong Bisa** と協力して、プログラムの安全性と持続可能性を確保。

このプロジェクトでは、政府の地元の衛生・教育機関と緊密に連携。
これは、子どもたちが清潔で安全な飲料水を確実に利用できるようにするために、
社会のさまざまな利害関係者間の共同の努力が必要であることを示す。

備考；

1. ファクファク (**Fakfak**)；西パプアの都市
2. **Fakfak Mengajar**；ファクファクの **Indonesia Mengajar** の組織。
(**Indonesia Mengajar**；インドネシアのさまざまな地域に全国最高の若い世代を募集、
訓練、派遣し、地域の基礎教育レベルを上げる活動をしている非営利組織。)
3. **Kitong Bisa**；キトンビサは、2009 年にセルイの学習センターとして設立。
若いパプアの子供たちがより良い教育を受け、成功し、貧困ラインから抜け出すことを促すことを目的としている。